

事業のあらまし

この事業は、東京都、葛飾区、京成電鉄が連携して、東京都が事業主体となり都市高速鉄道京成電鉄押上線の四ツ木駅から青砥駅までの延長約2.6km（事業区間約2.2km）の区間を連続立体交差化を行い、あわせて葛飾区が事業主体となり側道（附属街路）を整備するものです。

事業の効果

交通の円滑化 踏切がなくなり、交通渋滞が解消!!

平和橋通り（補助140号線）などの沿線にある11箇所の踏切がなくなり、踏切による交通渋滞が解消されます。

安全性の向上 踏切事故がなくなる!!

踏切事故がなくなり、道路と鉄道それぞれの安全性が向上します。

地域の発展 地域分断の解消と魅力あるまちづくり!!

立体交差化に伴い、これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化が図られます。さらに、側道（附属街路）・駅前広場（交通広場）などを整備することによって、沿線地域の道路の状況や生活環境が改善され、新たな魅力あるまちづくりが推進されます。

利便性の向上 駅が便利に!!

- 駅前広場の整備により、バス、タクシーなどへの乗換えが便利になります。
- 京成立石駅にエレベーター、エスカレーターを設置し、利用者誰もが快適に使えるよう配慮します。
- 高架下空間には、公共施設や店舗などが整備され、有効活用が図られます。

以上のように、沿線のまちづくり、安全性や利便性の面からも地域の発展に寄与することができます。

本事業に対しまして皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

事業の概要

(1) 経緯

- 平成13年1月15日 都市高速鉄道京成電鉄押上線都市計画決定（四ツ木駅～青砥駅間）
都市高速鉄道京成電鉄押上線附属街路都市計画決定
（鉄押附3号線・同4号線・同5号線・同6号線）
- 平成15年2月14日 都市高速鉄道京成電鉄押上線事業認可・事業着手（四ツ木駅～青砥駅間）
都市高速鉄道京成電鉄押上線附属街路事業認可・事業着手
（鉄押附3号線*・同4号線・同5号線）*区計画区間を除く

(2) 工事の概要

● 都市高速鉄道京成電鉄押上線

区 間 四ツ木駅（葛飾区東四ツ木3丁目）～青砥駅（葛飾区青戸3丁目）間
延 長 約2.6km（事業区間約2.2km）
構造形式 高架方式
駅 施 設 京成立石駅 ホーム延長：約153m（8両編成）
ホーム幅員：約6.5m

● 都市高速鉄道附属街路（鉄押附3号線，同4号線，同5号線）

総延長：約1.3km
幅 員：6m, 8m

(3) 立体交差化されることにより解消される踏切等

踏切道等の名称	道路名称	現況踏切道等幅員	備 考
四ツ木第2架道橋	区道223号線	6.0m	既立体交差化済み 現在 桁下制限2.3m 将来 桁下制限解除
四ツ木第1号踏切	区道225号線	2.7m	車両通行不可(2輪車除く)
四ツ木第2号踏切	都道千住小松川葛西沖線(平和橋通り)	18.0m	補助140号線
四ツ木第3号踏切	葛44号線	3.8m	車両通行不可(2輪車除く)
四ツ木第4号踏切	区道243号線	5.9m	
四ツ木第5号踏切	葛45号線	6.2m	
四ツ木第6号踏切	区道245号線	6.0m	
四ツ木第7号踏切	葛46号線	6.7m	
四ツ木第8号踏切	区道392号線	4.0m	
地 下 道	区道399号線	4.0m	車両通行不可
京成立石第1号踏切	葛48号線	5.7m	
京成立石第2号踏切	葛325号線	11.0m	補助274号線
京成立石第3号踏切	葛50号線	3.4m	

(4) 立体交差化される都市計画道路

都市計画道路名	幅員（鉄道交差部）	備 考
補助140号線	18m	四ツ木第2号踏切（平和橋通り）
補助274号線	18m	京成立石第2号踏切